



平成25年12月号



概況

最近の県内経済は、緩やかながら全体に持ち直しの動きが続いている。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は 4 ヶ月連続のマイナスとなった。自動車販売は登録車、届出車がプラスとなり、合計では 2 ヶ月連続のプラスとなった。

住宅建設は貸家、給与住宅、分譲住宅が減少したものの、持家が増加し、全体では 8 ヶ月連続のプラスとなった。公共投資は国、県が減少したものの、独立行政法人等、市町村が増加し、3 ヶ月ぶりの大幅プラスとなった。

生産関連の動きをみると、鉱工業生産指数は前月比 7.0%低下の 101.0 となった。25 年県産リンゴ販売は県外出荷量、県外市場販売額とも幾分増加した。八戸港水揚げは数量、金額とも大幅に増加した。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比 0.02 ポイント上昇の 0.70 倍となった。新規求人数は 2 ヶ月連続で 1 万人を超えており、県内全域で雇用状況の改善が続いている。

個人消費 10 月の**大型小売店販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比 1.5%減と 4 ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同 6.8%減、スーパーは同 0.1%増となった。10 月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比 14.6%増の 5,073 台と 2 ヶ月連続のプラスとなった。登録車が同 10.7%増と 10 ヶ月ぶりのプラス、届出車は同 19.4%増と 5 ヶ月連続のプラスとなった。

住宅投資 10 月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比 9.6%増の 697 戸と 8 ヶ月連続のプラスとなった。貸家が同 21.4%減、給与住宅が同 83.3%減、分譲住宅が同 70.5%減となったものの、持家は同 48.1%増と大幅に増加した。

公共投資 10 月の**公共工事請負額**は全体で前年同月比 54.9%増の 228 億 8,700 万円と 3 ヶ月ぶりの大幅プラスとなった。国が同 31.0%減、県が同 12.2%減となったものの、独立行政法人等は同 5.8 倍、市町村は同 173.3%増となった。

一次産業 農林水産省の発表によると、**25 年県産米**の相対取引価格 (25 年 10 月)は「つがるロマン」が前年同月比 9.7%低下、「まっしぐら」が同 13.1%低下となった。10 月の**25 年県産リンゴ販売**は県外出荷量が前年同月比 2.9%増、県外市場販売額は同 4.3%増となった。10 月の**八戸港水揚げ**は数量が前年同月比 71.2%増、金額が同 66.6%増と、数量、金額とも大幅に増加した。

生産活動 9 月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は前月比 7.0%低下の 101.0 となった。原指数では前年同月比 2.2%低下の 101.8 となった。鉄鋼、電気機械、輸送機械、化学で前月比 2 ケタの低下がみられ、全体を押し下げた。

一 次 産 業

米

☆ 「つがるロマン」、「まっしぐら」とも前年同月比価格低下

農林水産省が発表した「平成 25 年産米の相対取引価格(平成 25 年 10 月)」によると、県産米の相対取引価格は「つがるロマン」が前年同月比 9.7%低下の 1 万 4,066 円/玄米 60kg、「まっしぐら」は同 13.1%低下の 1 万 3,343 円/玄米 60kg となった。

公表された 37 銘柄の平均価格は 1 万 4,752 円/玄米 60kg となり、前月比 0.8%低下、前年同月比 11.0%低下となった。価格が最も高かったのは新潟「コシヒカリ(魚沼)」で 2 万 1,839 円/玄米 60kg であった。前年同月比でみると、比較可能な 32 銘柄では山形「ひとめぼれ」と福岡「夢つくし」の 2 銘柄のみが上昇、30 銘柄が低下した。低下幅が大きかったのは、千葉「ふさおとめ」(△19.7%)、千葉「ふさこがね」(△19.0%)などであった。

平成25年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

産地	品種	25年9月	25年10月	前月比	(単位:円/玄米60kg)	
					24年10月	前年同月比
青森	つがるロマン	-	14,066	-	15,579	-9.7%
	まっしぐら	-	13,343	-	15,357	-13.1%
岩手	ひとめぼれ	14,360	14,384	0.2%	15,893	-9.5%
宮城	ひとめぼれ	14,717	14,442	-1.9%	16,413	-12.0%
秋田	あきたこまち	14,481	14,616	0.9%	16,942	-13.7%
山形	つや姫	-	17,212	-	-	-
北海道	なつぼし	15,527	14,586	-6.1%	15,383	-5.2%
北海道	ゆめぴりか	18,043	17,256	-4.4%	-	-
全銘柄平均価格		14,871	14,752	-0.8%	16,579	-11.0%

相対取引価格… 全国出荷団体、年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格)

資料出所:農林水産省

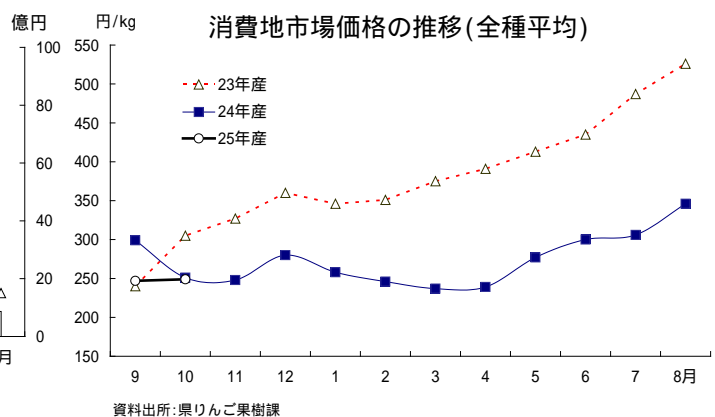
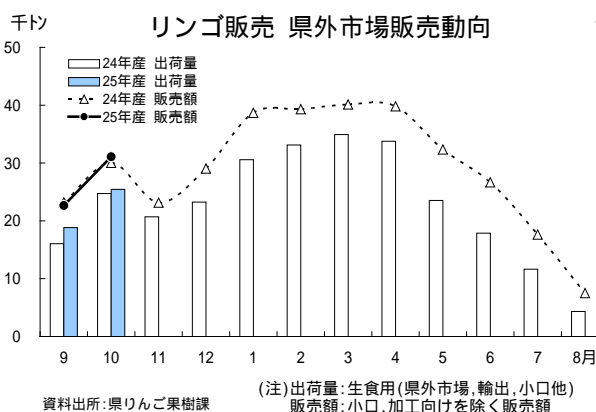
りんご

☆ 県外出荷量、県外市場販売額とも前年同月比幾分増

25 年県産リンゴ販売、10 月の県外出荷量は前年同月比 2.9%増の 2 万 5,439 トンとなった。これは前 3 ヶ年の 10 月平均出荷量を 11.5%上回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比 8.0%上昇、前 3 ヶ年比較で 8.4%低下の 175 円/kg となった。一方、消費地市場価格は「早生ふじ」が前年同月比 1.5%上昇の 274 円/kg、「つがる」が同 6.8%低下の 220 円/kg となり、合計では前年同月比 1.2%上昇、前 3 ヶ年比較で 11.7%低下の 249 円/kg となった。この結果、県外市場販売額は前年同月比 4.3%増、前 3 ヶ年比較で 0.6%減の 62 億 1,600 万円となった。

25 年産県産リンゴは全体に小玉傾向であったが、着色、食味が良好であることから、市場価格は前 5 ヶ年中庸 3 ヶ年平均比*で 0.4%低下とほぼ平年並みとなった。

* 同月の過去 5 ヶ年の中庸 3 ヶ年平均値であり、過去 5 年間継続して数値のあるものについて算出。



海面漁業

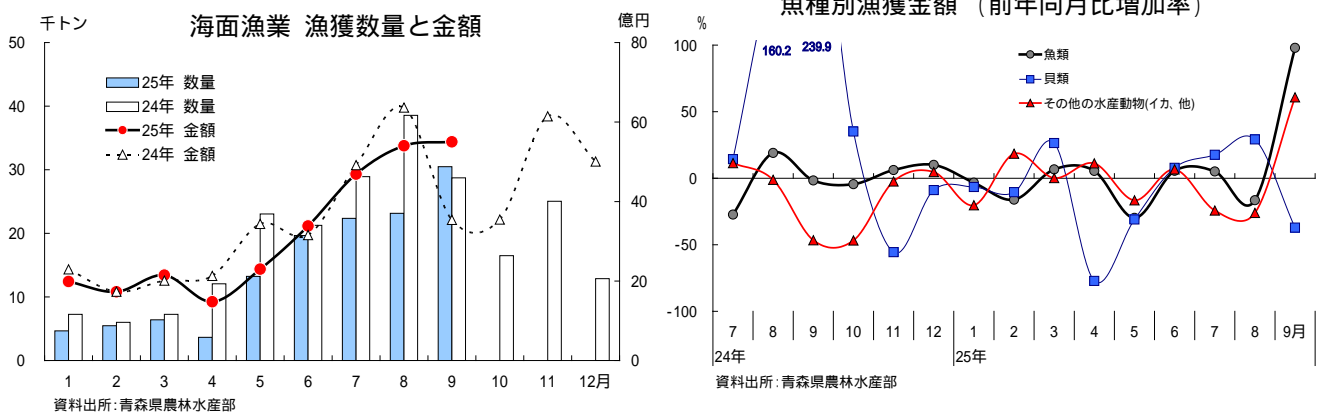
☆ 9月の漁獲金額、前年同月比 55.4%増

9月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比 6.1%増の 3万 486 トン、漁獲金額は同 55.4%増の 55億 239 万円となった。

主な魚種別にみると、「魚類」はサバ、マグロ、タラの水揚げが好調であり、数量が前年同月比 17.7%増の 2万 1,605 トンとなった。また、サバ、マグロの魚価上昇から金額は同 97.7%増の 30億 5,934 万円となった。

「貝類」はホタテガイの水揚げが大幅に落ち込み、数量が同 47.6%減の 1,633 トン、金額が同 37.1%減の 2億 7,487 万円となった。

イカなどの「その他の水産動物」は近海・生スルメイカ、近海アカイカ、ホヤなどが増加し、数量が同 10.8%増の 6,756 トン、金額が同 60.8%増の 20億 4,030 万円となった。



八戸港水揚げ

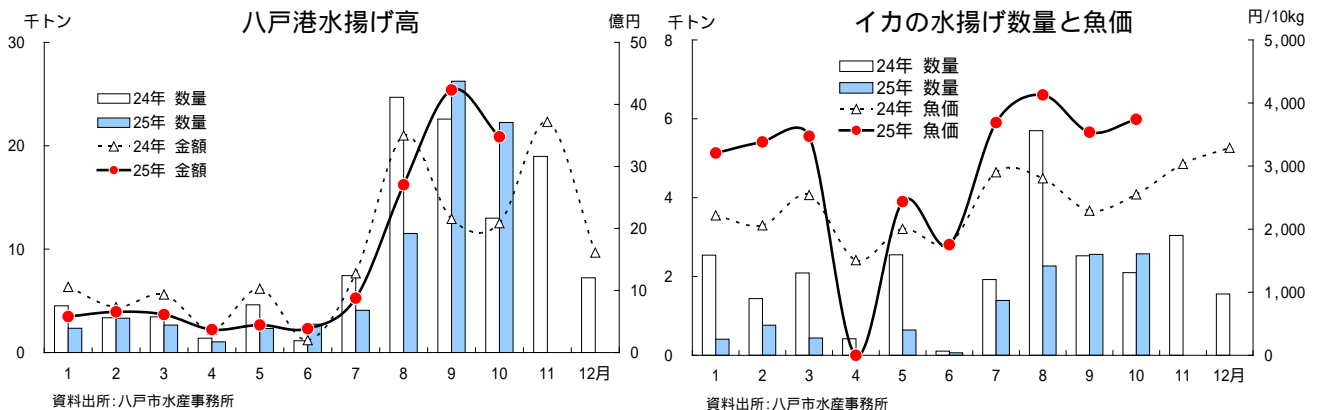
☆ 数量、金額とも大幅増加

10月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比 71.2%増の 2万 2,248 トン、金額が同 66.6%増の 34億 7,668 万円と、数量、金額とも大幅に増加した。

イカ釣り漁は船凍スルメイカの水揚げが増加したほか、船凍アカイカの水揚げがみられ、数量が同 22.7%増の 2,574 トンとなった。金額は、品不足による平均単価の上昇から同 80.0%増の 9億 6,296 万円と大幅に増加した。

大中型旋網漁はサバ、イナダの水揚げが好調で数量が同 94.9%増の 1万 6,102 トン、金額が同 46.3%増の 16億 2,998 万円となった。

機船底引き網漁は中型船によるスルメイカの水揚げが増加し、数量が同 47.8%増の 1,943 トン、金額が同 73.9%増の 4億 9,722 万円となった。



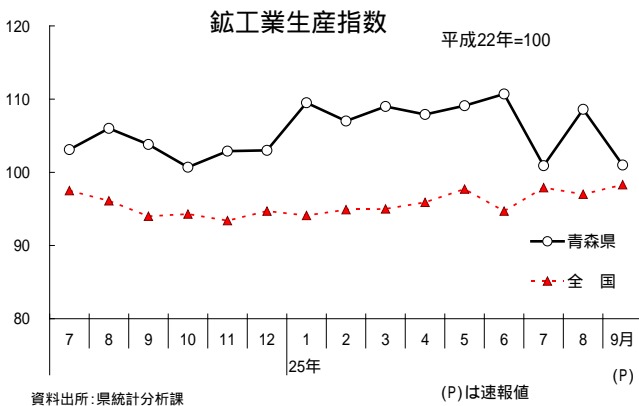
二次産業

鉱工業生産

☆ 鉱工業生産指数、前月比 7.0%低下の 101.0

9月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は前月比7.0%低下の101.0となった。主要6業種をみると、ウェイトの高い食料品が同0.2%、鉄鋼が同14.5%、業務用機械が同9.7%、電気機械が同22.5%それぞれ低下した。一方、電子部品・デバイスは同1.6%、パルプ・紙は同8.0%それぞれ上昇した。このほかでは化学が同45.4%、輸送機械が同30.3%低下し、金属製品は同3.9%、窯業・土石は同14.8%上昇した。原指数では前年同月比2.2%低下の101.8となった。

当月は鉄鋼、電気機械、輸送機械、化学で前月比2ケタの低下がみられ、全体を押し下げた。なお、9月より青森県の数値は平成22年=100に基準改訂。



業種別生産指数(平成25年9月)

業種 ()内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原指数	
	平成22年=100	前月比(%)	平成22年=100	前年同月比(%)
鉱工業 (10,000.0)	101.0	7.0	101.8	2.2
食料品 (2,410.0)	106.8	0.2	105.0	4.6
鉄鋼 (1,200.9)	100.6	14.5	97.8	2.6
電子部品・デバイス (1,048.2)	127.0	1.6	142.0	0.5
業務用機械 (1,005.1)	97.0	9.7	101.3	0.0
パルプ・紙 (722.3)	96.0	8.0	98.0	4.5
電気機械 (429.2)	103.0	22.5	112.9	40.4

資料出所: 県統計分析課

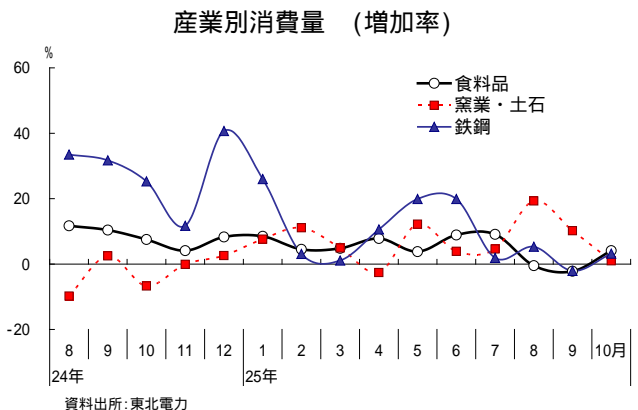
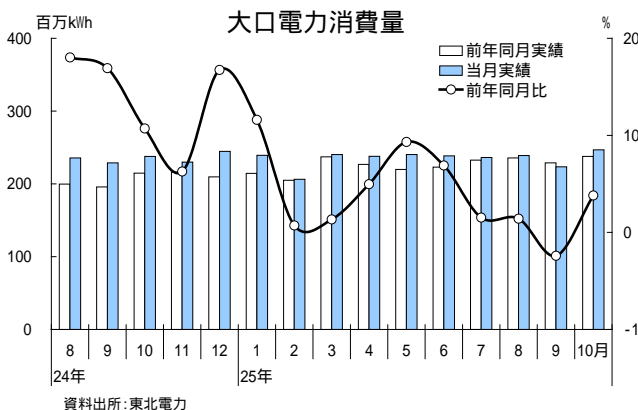
大口電力

☆ 大口電力消費量、再びプラス

10月の県内大口電力消費量は、前年同月比3.8%増の2億4,678万kWhとなった。うち製造業は同4.5%増の1億8,314万kWhとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、非鉄金属が同15.6%増、食料品が同4.1%増、消費ウェイトの高い鉄鋼が同3.2%増、機械が同2.9%増、窯業・土石が同1.0%増となった。一方、化学は同7.2%減、パルプ・紙は同11.0%減となった。

当月の県内大口電力消費量は非鉄金属、食料品など多くの業種で前年同月を上回る水準となり、全体では再びプラスに転じた。

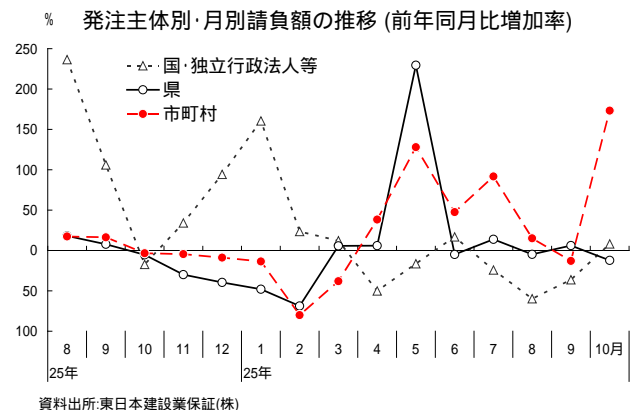
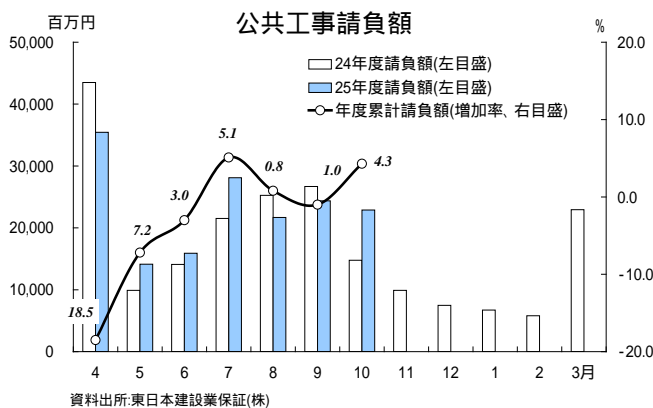


公共工事

☆前年同月比 54.9%減、3ヶ月ぶりの大幅プラス

10月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 54.9%増の 228 億 8,700 万円と 3ヶ月ぶりの大幅プラスとなった。当月の請負額は、独立行政法人等が弘前大学関連の大幅な増加により同 5.8 倍の 18 億 8,800 万円、市町村が青森市、十和田市、藤崎町などの大幅な増加により同 173.3%増の 131 億 5,600 万円とそれぞれ大幅に増加した。一方、国は防衛省で増加したものの、国土交通省の大幅な減少により同 31.0%減の 27 億 600 万円、県は農林水産部関連(中南地域県民局など) で増加したものの、県土整備部関連(三八地域県民局など)の減少により同 12.2%減の 46 億 8,000 万円となった。

平成 25 年度の累計請負額(4~10 月)は、国、独立行政法人等が前年同期を下回っているものの、県、市町村が堅調に推移しており、全体では前年同期比 4.3%増。

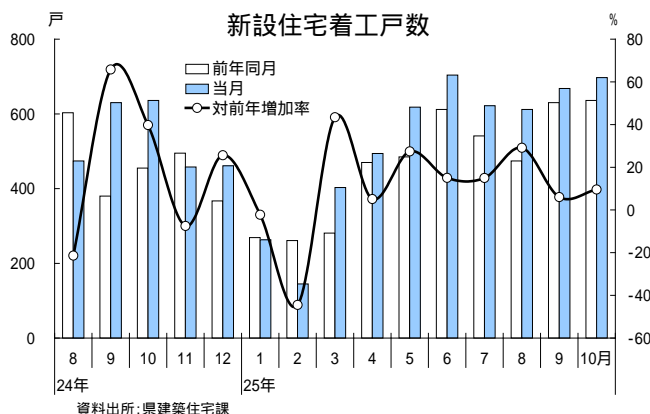


住宅着工

☆ 8ヶ月連続プラス、1~10月の累計着工戸数は5,226戸

10月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 9.6%増の 697 戸と 8ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別では、持家が同 48.1%増と大幅に増加した。一方、貸家は同 21.4%減、給与住宅は同 83.3%減、分譲住宅は同 70.5%減となった。地域別にみると、弘前市、八戸市、十和田市、郡部で減少したものの、青森市、黒石市、五所川原市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市で増加した。持家は県内全域で増加した。貸家は青森市、五所川原市などで増加したものの、弘前市、八戸市、十和田市、郡部で大幅に落ち込んだ。分譲住宅は県内全域で減少した。

当月の新設住宅着工は貸家、分譲住宅が前年を下回ったものの、持家は消費税率引上げ前の駆け込み需要もあり大幅な増加がみられた。1~10月の全体の累計着工戸数は 5,226 戸で、前年同期比 12.2%増となった。



利用関係別戸数

(単位:戸,%)

	25年 10月	24年 10月	前年 同月比
持家	474	320	48.1
貸家	209	266	21.4
給与住宅	1	6	83.3
分譲住宅	13	44	70.5
総戸数	697	636	9.6

資料出所:県建築住宅課

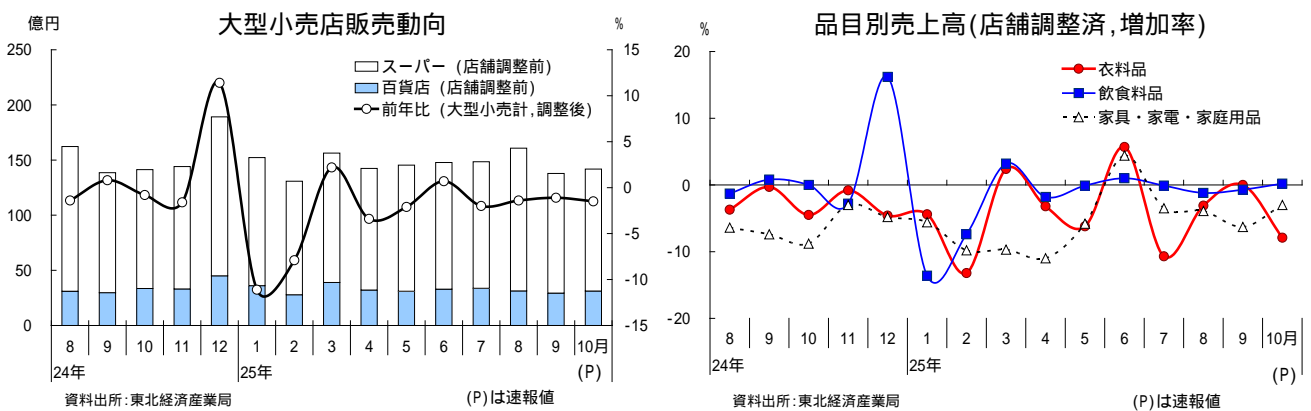
三次産業

大型小売店販売

☆ 4ヶ月連続マイナス、前年同月比 1.5%減

10月の県内大型小売店販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 1.5%減と4ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同 6.8%減、スーパーは同 0.1%増となった。品目別では、ウエイトの高い飲食料品が同 0.2%増となったものの、衣料品は同 7.9%減、家具・家電・家庭用品は同 3.0%減となった。

飲食料品は生鮮野菜、惣菜、酒類などで動きがみられた。衣料品は高気温や大雨など天候が影響し、冬物コート、婦人服などが伸び悩んだ。家具・家電・家庭用品は暖房器具など家電製品が好調だったものの、家具、家庭用品は伸び悩んだ。

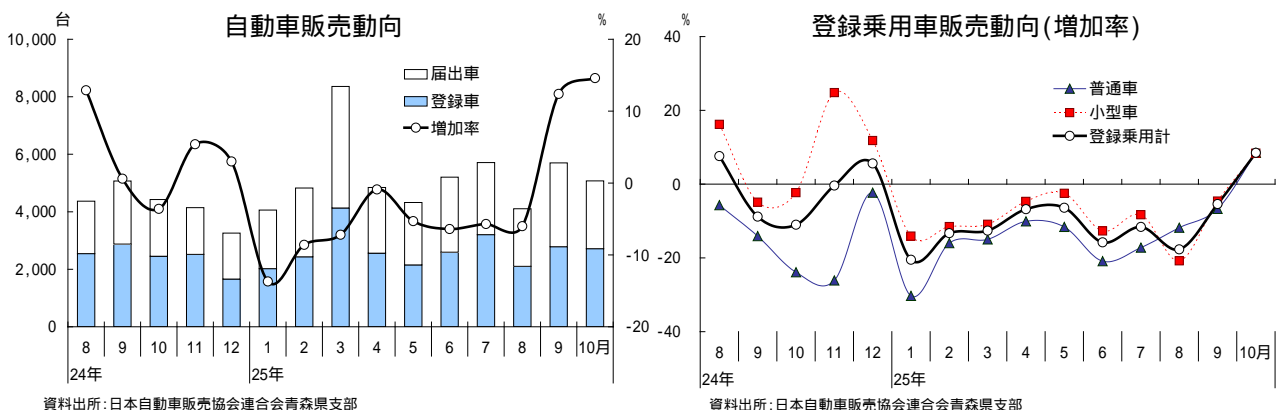


自動車販売

☆ 前年同月比 14.6%増、2ヶ月連続のプラス

10月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 14.6%増の 5,073 台と2ヶ月連続のプラスとなった。内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同 8.5%増、小型乗用車が同 8.4%増、貨物車が同 24.2%増となり、登録車合計では同 10.7%増と10ヶ月ぶりのプラスとなった。届出車は乗用車が同 17.0%増、貨物車が同 26.4%増とそれぞれ大幅に増加し、届出車合計では同 19.4%増と5ヶ月連続のプラスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同 8.5%増となり、全体では同 12.0%増と2ヶ月連続のプラスとなった。

県内の自動車販売は、消費税率前の駆け込み需要などから乗用車で伸びがみられるほか、貨物車も好調に推移している。



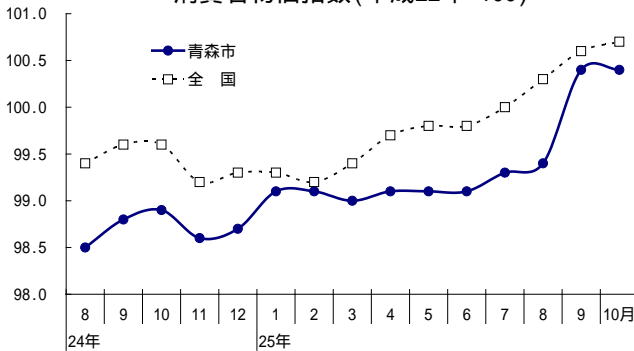
消費者物価指数

☆前月比横ばい、前年同月比 1.5%上昇の 100.4

10月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比横ばい、前年同月比 1.5%上昇の 100.4 となった。主要費目別に前月と比べると、「諸雑費」が損害保険料などの値上がりにより 2.2%、「家具・家事用品」が家庭用耐久財などの値上がりにより 1.6%、「被服及び履物」がシャツ・セーター・下着類などの値上がりにより 1.4%上昇した。一方、「食料」は生鮮果物、生鮮魚介などの値下がりにより 0.7%低下した。前年同月との比較では「光熱・水道」(7.9%)、「諸雑費」(2.4%)、「被服及び履物」(1.8%)、「交通・通信」(1.6%)、「食料」(1.4%)、「家具・家事用品」(△4.1%)などの変動が大きかった。

なお、「食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数」は前月比 0.2%上昇、前年同月比 1.0%

消費者物価指数(平成22年=100)



資料出所: 県統計分析課

費目別指数の動き(平成25年10月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	100.4	0.0	1.5
食料	98.0	0.7	1.4
住居	98.2	0.1	0.2
光熱・水道	116.8	0.2	7.9
家具・家事用品	89.9	1.6	4.1
被服及び履物	103.0	1.4	1.8
保健医療	97.6	0.2	1.7
交通・通信	103.8	0.5	1.6
教育	96.8	0.0	0.1
教養娯楽	91.9	0.4	0.2
諸雑費	106.3	2.2	2.4

資料出所: 県統計分析課

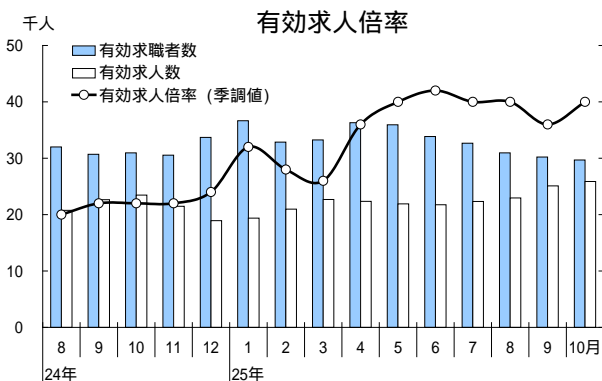
雇用動向

☆有効求人倍率、0.70 倍に回復

10月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比 10.2%増の 2 万 5,867 人、有効求職者数は同 4.1%減の 2 万 9,698 人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比 0.02 ポイント上昇の 0.70 倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比 8.9%増、パート求人数が同 15.7%増、臨時・季節求人数は同 8.7%減となった。全数では同 11.5%増の 1 万 836 人と 2ヶ月連続で 1 万人を超えた。主要産業別の新規求人動向では情報通信業、金融・保険業などで減少がみられたものの、製造業や小売業、宿泊業、サービス業などで増加した。

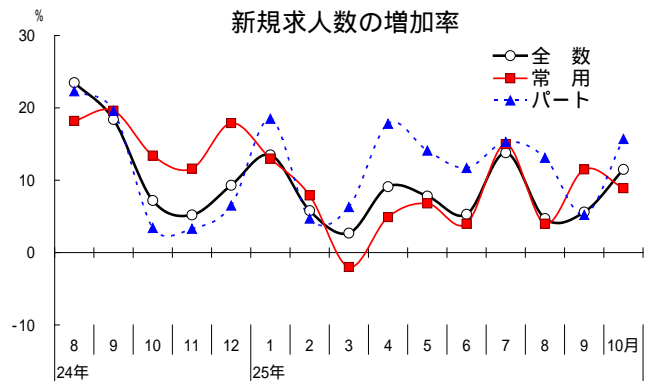
県内の雇用状況は有効求人倍率が再び 0.70 倍台に回復し、県内全域で雇用状況の改善が続いている。

有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

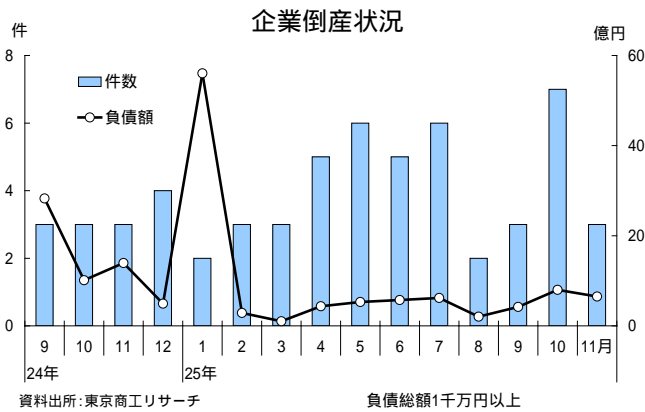
企業倒産

☆ 県内企業倒産、小康状態続く

11月の県内企業倒産は、件数が前年同月比横ばいの3件、負債総額は同7億4,500万円減の6億5,000万円となった。前月比では件数が4件減、負債総額は1億4,800万円減となった。

倒産の内訳をみると、業種別では漁業、林業、建設業が各1件となった。地域別では八戸市が2件、むつ市が1件となった。倒産要因は放漫経営、過小資本、販売不振が各1件となった。

当月の県内企業倒産は、件数が32ヶ月連続で1ケタ台にとどまった。いずれも小・中規模クラスで大口倒産がなく、このところ小康状態が続いている。



業種別・原因別件数 (平成25年11月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業	2	放漫経営	1
建設業	1	過小資本	1
製造業		他社倒産の余波	
卸売業		既往のシワ寄せ	
小売業		信用低下	
金融・保険業		販売不振	1
不動産業		売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他		その他	
合計	3	合計	3

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

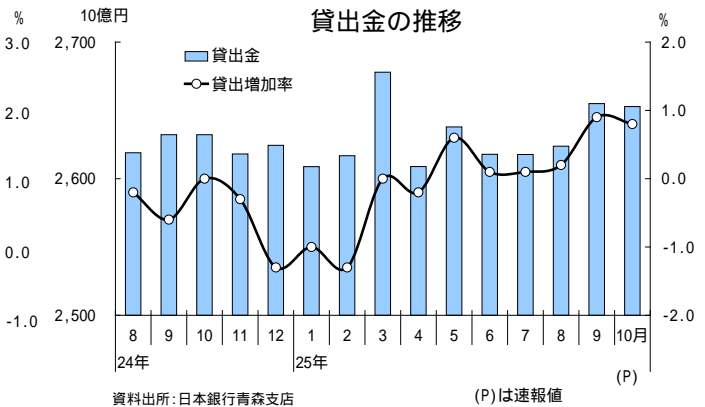
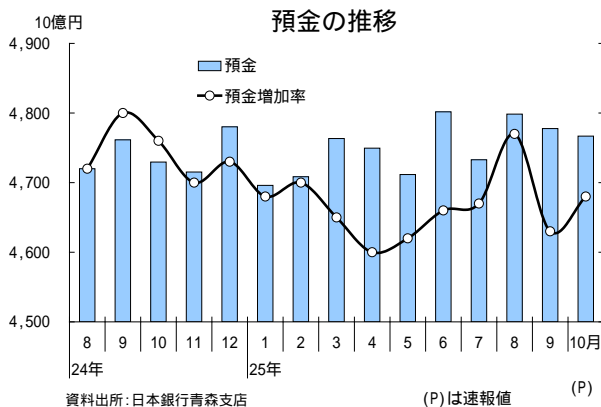
金融動向

預金、貸出金とも6ヶ月連続のプラス

10月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比0.8%増の4兆7,669億円、貸出金は同0.8%増の2兆6,528億円となり、ともに6ヶ月連続のプラスとなった。

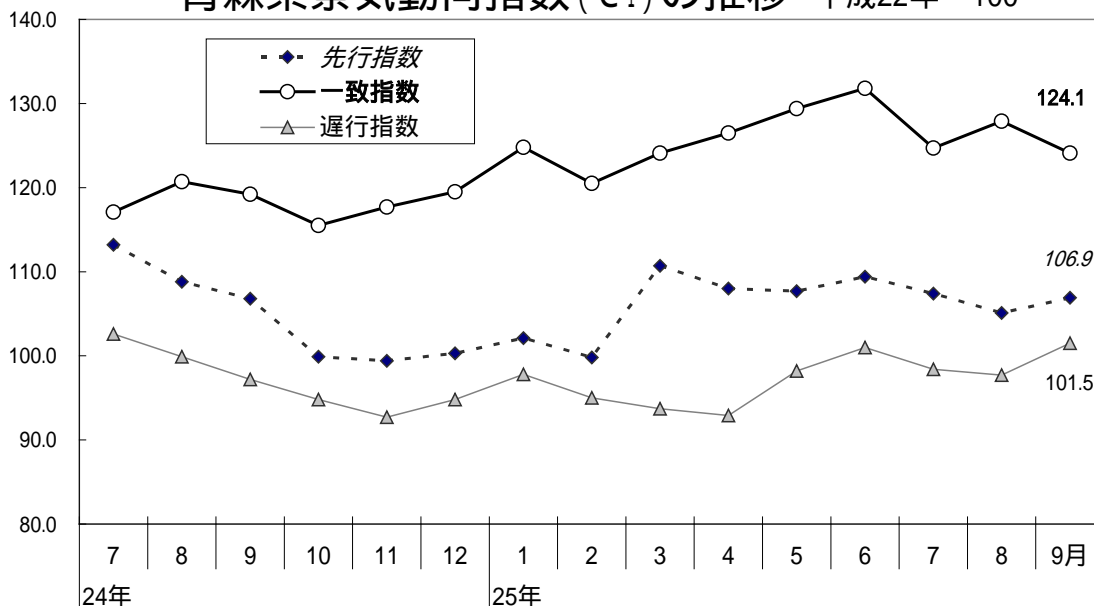
預金は個人預金が前年を上回って推移しているほか、法人預金のプラス幅が拡大したことから、預金全体のプラス幅は前月比0.5ポイント拡大した。

一方、貸出金は個人向けのプラス幅が拡大したものの、地公体向けのプラス幅が縮小したことから、貸出金全体のプラス幅は前月比0.1ポイント縮小した。



青森県景気動向指数

青森県景気動向指数(CI)の推移 平成22年 = 100



資料出所: 県統計分析課

一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを、マイナスを で表
下段: 寄与度

採用系列名	25年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
1. 大型小売店販売額(既存店)	2.44	0.50	1.17	1.23	0.20	0.07
2. 旅行取扱高	2.44	0.03	0.03	1.38	0.27	1.37
3. 鉱工業生産指数	0.35	0.40	0.53	3.32	2.61	2.55
4. 大口電力使用量	2.66	0.37	0.24	2.14	1.03	1.21
5. 有効求人倍率(全数)	2.50	1.21	0.41	1.10	0.35	1.82
6. 輸入通関実績(八戸港)	0.47	0.58	0.54	0.05	0.01	0.26
7. 東北自動車道IC利用台数	2.88	0.94	0.39	0.67	0.03	0.07

資料出所: 県統計分析課

景気動向指数(CI: Composite Index)とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

国内景気

概況

国内景気は、緩やかに回復しつつある。個人消費は持ち直し傾向にある。住宅建設は消費税率引上げに伴う駆け込み需要もあって、増加している。生産は緩やかに増加している。輸出はこのところ弱含んでいる。貿易・サービス収支の赤字は増加傾向にある。企業収益は大企業を中心に改善が進んでいる。雇用情勢は改善している。消費者物価は底堅さがみられる。

大型小売店販売（既存店ベース）

- 前年同月比 0.1%減、マイナスに転化 -

10月の大型小売店販売は前年同月比 0.1%減とマイナスに転じた。業態別にみると、百貨店が同 0.4%減、スーパーは同横ばいとなった。商品別にみると、衣料品が同 3.6%減、その他商品が同 0.1%減、飲食料品は同 1.5%増となった。

住宅建設

- 14ヶ月連続のプラス -

10月の新設住宅着工戸数は前年同月比 7.1%増の 9万 226戸と 14ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別にみると、持家が同 17.6%増と 14ヶ月連続、貸家が同 3.3%増と 8ヶ月連続のそれぞれプラスとなった。一方、分譲住宅は同 2.7%減と 6ヶ月ぶりのマイナスとなった。

企業倒産

- 負債総額、10月では過去 20年間で最少 -

10月の企業倒産は、件数が前年同月比 7.3%減の 959件、負債総額は同 35.1%減の 1,553億円となった。倒産件数は 12ヶ月連続のマイナスとなり、10月としては 1991年以降のバブル崩壊後で最少となった。負債総額は 10月としては過去 20年間で最少となった。

為替動向

- 11月末終値 102円 23銭 -

11月の東京為替市場は 98円台前半でスタート。上旬から中旬にかけては、日経平均株価の上昇、米国の量的金融緩和策の長期化観測などから円売りが優勢、100円台まで円安が進んだ。下旬は日経平均株価の上昇などからリスク不安が和らぎ、円売りが進んだ。また、月末にかけては輸入企業の円売りドル買いなどから 102円へ続落。月末終値は 102円 23銭で、6ヶ月ぶりの円安水準。

鉱工業生産指数

- 前月比 0.5%上昇の 98.8 -

10月の鉱工業生産指数は前月比 0.5%上昇の 98.8(季節調整値)となった。はん用・生産用・業務用機械、電気機械等が上昇に寄与。品目別では半導体製造装置、携帯電話、セパレート型エアコン等であった。なお、生産予測調査によると、11月は、はん用・生産用・業務用機械、鉄鋼等の上昇により当月比 0.9%上昇の予測。

新車販売（除く軽自動車）

3ヶ月連続のプラス、前年同月比 13.3%増

11月の国内新車販売は前年同月比 13.3%増の 27万 6,399台と 3ヶ月連続のプラスとなった。内訳別では、乗用車が同 13.4%増、貨物車が同 12.4%増となった。乗用車は普通乗用車が同 18.4%増、小型乗用車が同 9.1%増とそれぞれ 3ヶ月連続のプラスとなった。

完全失業率

前月比横ばいの 4.0%

10月の完全失業率は前月比横ばいの 4.0%となった。完全失業者数は前年同月比 8万人減の 263万人となり、41ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が同 7万人減の 94万人、勤め先や事業の都合が同 1万人減の 64万人などとなった。

消費者物価指数

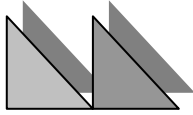
- 前月比 0.1%上昇の 100.7 -

10月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比 0.1%上昇、前年同月比 1.1%上昇の 100.7となった。前月に比べ交通・通信、食料が下落したものの、損害保険料等の他の諸雑費などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は前月比 0.2%上昇、前年同月比 0.9%上昇の 100.7。

国際収支

- 経常収支、赤字に転化 -

10月の経常収支額は前年同月比 5,487億円減少し、1,279億円の赤字に転じた。所得収支の黒字幅が拡大、サービス収支の赤字幅が縮小したものの、貿易収支、経常移転収支の赤字幅が拡大した。内訳は、所得収支が 1兆 3,615億円の黒字となった。一方、貿易収支は 1兆 919億円、サービス収支は 3,137億円、経常移転収支は 838億円のそれぞれ赤字となった。

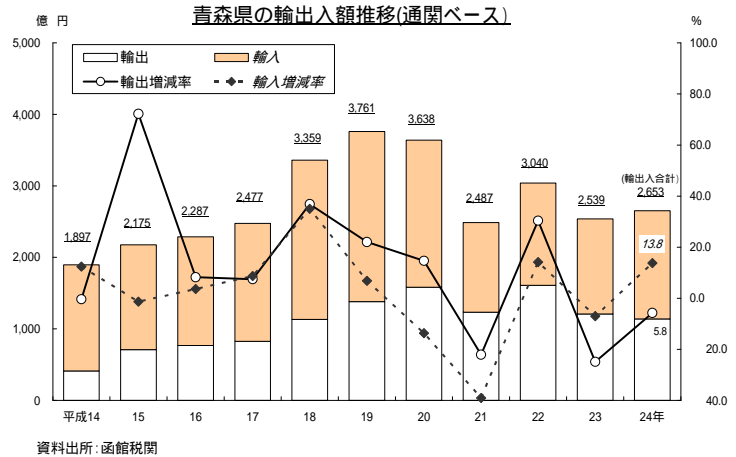


今月の統計

青森県の貿易取引

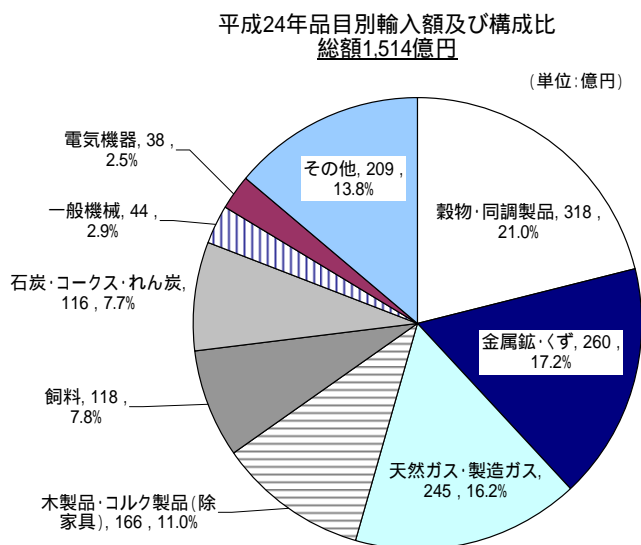
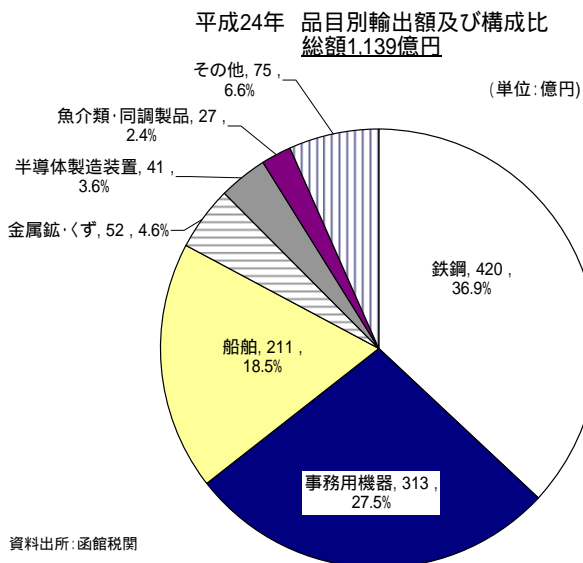
平成 24 年の青森県の貿易取引額(通関ベース)は輸出入合計で前年比 4.5%増の 2,653 億円となった。うち輸出は、同 5.8%減の 1,139 億円と 3 年連続のマイナスとなった。一方、輸入は 13.8%増の 1,514 億円となった。

平成 24 年の貿易取引は円高の影響などから輸出が落ち込む一方で輸入が増加し、2 年連続で輸入超過となった。



輸出入品目を平成 24 年の構成比で見ると、輸出は素材関連産業であるフェロニッケルを中心とした鉄鋼がトップとなり、3 割以上を占めた。次いで、事務用機器、船舶、金属鉱・くず、半導体製造装置、魚介類・同調製品などと続いている。一方、輸入のトップは食料品加工産業の原材料である穀物・同調製品で約 2 割を占めた。次いで、素材関連の原料である金属鉱・くず、天然ガスなどの燃料関係、紙・パルプの原材料であるウッドチップ等の木製品・コルク製品、飼料、石炭・コークス・れん炭などと続いている。平成 23 年実績と比較すると、輸出では鉄鋼が増加したものの、船舶、半導体製造装置、事務用機器が大幅に減少した。一方、輸入は金属鉱・くず、木製品・コルク製品が増加した。

なお、本県の主要産品であるリンゴは他県の貿易港から輸出されるため、この統計には反映されていない。参考までに平成 24 年産国産リンゴの輸出金額(24 年 9 月～25 年 8 月)をみると、日本全体では 50 億 6,600 万円であった。うち本県産の輸出額は全体の約 9 割を占めるとされており、約 45 億円と推計される。



県内・国内トピックス 11月

県内

- 3日 秋の叙勲、本県関係者は4,193人**
政府は2013年秋の叙勲受章者を発表した。受章者は4,193人で、本県関係者は67人(うち県外在住者4人)となった。
- 14日 十和田湖観光汽船、民事再生手続き廃止決定**
民事再生法に基づき経営再建を目指していた十和田湖観光汽船(本社 青森市)に対し、青森地裁は民事再生手続きの廃止を決定し、財産の保全仮命令を出した。
- 19日 2012年の製造品出荷額等、前年比5.0%増**
県が発表した2012年の青森県工業統計速報によると、本県の製造業事業所数は前年比3.0%減の1,511事業所で4年連続の減少となった。一方、製造品出荷額等は同5.0%増の1兆4,731億円と2年ぶりに増加した。
- 21日 新規高卒者の就職内定率62.7%**
青森労働局は、来春県内の高校や大学を卒業する生徒、学生の就職内定状況(10月末現在)を発表した。高校生の内定率は前年同月比6.5ポイント増の62.7%となった。うち県内が49.2%、県外は81.9%となり、いずれも過去10年で最高となった。一方、大学生の内定率は同0.9ポイント減の50.6%であった。
- 22日 八戸税関支署、10月の貿易額は前年同月比5.6%増**
八戸税関支署が発表した管内の10月の外国貿易概況(速報値、実績は八戸港のみ)によると、輸出入を合わせた貿易額は前年同月比5.6%増の215億1,800万円となり、2ヶ月連続のプラスとなった。

国内

- 3日 プロ野球、楽天が初の日本一**
プロ野球の日本シリーズ2013は仙台市のクリネックススタジアム宮城で第7戦が行われ、パ・リーグ優勝の楽天が巨人を破り、球団創設9年目で初の日本一となった。
- 8日 国の借金1,011兆1,785億円、過去最大を更新**
財務省の発表によると、国債と借入金、政府短期証券を合計した国の9月末時点の借金残高は、6月末から2兆5,505億円増の1,011兆1,785億円となり、過去最大を更新した。
- 11日 街角景気、2ヶ月ぶりに悪化**
内閣府が発表した10月の景気ウォッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は前月比1.0ポイント低下の51.8となり、2ヶ月ぶりに悪化した。
- 13日 7-9月期の機械受注、前期比4.3%増**
内閣府が発表した7-9月期の機械受注統計(季節調整値)は、民間設備投資の先行指標となる「船舶・電力を除く民需」の受注額が前期比4.3%増の2兆3,986億円となり、2・四半期連続で増加した。
- 14日 7-9月期のGDP年率1.9%増**
内閣府が発表した2013年7-9月期の国内総生産(GDP)速報値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比0.5%増、年率換算で1.9%増となり、4・四半期連続のプラス成長となった。
- 21日 スーパー売上高、3ヶ月連続で前年同月比プラス**
日本チェーンストア協会の発表によると、10月の全国のスーパー売上高は1兆434億円となり、既存店ベースでは前年同月比0.5%増と3ヶ月連続のプラスとなった。
- 22日 月例報告、基調判断を据え置き**
政府は11月の月例経済報告を発表し、景気の基調判断を前月と同じ「緩やかに回復しつつある」とし、2ヶ月連続で据え置いた。
- 28日 2014年産米、26万トン削減**
農林水産省は2014年の主食米生産数量目標について、前年比26万トン減の765万トンとする方針を決定した。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	114.6	1,060,741		211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	110.7	1,093,519		209,511
2009(H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010(H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011(H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012(H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2012(H24) 8	808,736	603,259	424,583	1.401	967	2,166	96.1	77,500	12,367	15,568
9	806,118	610,343	430,975	1.385	931	1,746	94.0	74,176	13,083	14,700
10	807,704	604,370	427,233	1.383	1,035	2,394	94.3	84,251	12,622	15,672
11	810,887	607,174	428,035	1.378	964	2,638	93.4	80,145	10,270	16,630
12	838,665	613,690	733,823	1.364	890	2,083	94.7	75,944	11,485	21,048
2013(H25) 1	838,266	611,606	432,055	1.358	934	2,246	94.1	69,289	7,119	16,872
2	823,430	614,768	434,083	1.346	916	1,720	94.9	68,969	10,543	14,239
3	828,371	631,290	441,471	1.325	929	1,591	95.0	71,456	18,573	16,598
4	831,109	630,769	436,249	1.321	899	6,860	95.9	77,894	6,370	15,508
5	832,813	632,194	436,493	1.319	1,045	1,733	97.7	79,751	9,682	15,889
6	828,305	635,807	439,885	1.303	897	3,837	94.7	83,704	14,637	16,385
7	834,873	629,734	439,803	1.296	1,025	1,996	97.9	84,459	13,038	17,127
8	835,572	629,421	440,521	1.291	819	1,663	97.0	84,343	14,102	15,823
9	833,865			1.277	820	1,902	98.3	88,539	18,916	15,059
10	835,418			1.277	959	1,553	P 98.8	90,226	14,130	P 15,860
前月比 %	0.2	0.0	0.2	0.000% 引	17.0	-18.3	0.5	1.9	-25.3	-1.6
前年同月比%	3.4	4.3	3.8	-0.106% 引	-7.3	-35.1	4.7	7.1	11.9	-0.4
資料出所	日本銀行			東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省	

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

公共工事請負額は推計方法を変更、公表値のみ掲載

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季調済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年月末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2007(H19)	4,400	101.1	100.7	-	3.9	15,307.78	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	105.7	102.1	-	4.0	8,859.56	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009(H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010(H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011(H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	95,507	1,295,841	79.76	165.195
2012(H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	11,138.66	47,036	1,267,299	79.79	169.679
2012(H24) 8	316	100.1	99.4	103.2	4.2	8,839.91	4,448	1,273,242	78.66	164.424
9	378	100.4	99.6	101.6	4.3	8,870.16	5,137	1,277,000	78.17	166.262
10	299	100.0	99.6	101.4	4.2	8,928.29	4,208	1,274,160	78.97	163.824
11	324	99.9	99.2	101.0	4.2	9,446.01	-1,796	1,270,848	80.87	166.279
12	284	100.3	99.3	102.7	4.3	10,395.18	-1,228	1,268,125	83.64	169.679
2013(H25) 1	323	100.5	99.3	103.0	4.2	11,138.66	-3,484	1,267,299	89.19	173.500
2	413	101.0	99.2	104.0	4.3	11,559.36	6,497	1,258,809	93.21	174.999
3	571	101.1	99.4	105.0	4.1	12,397.91	12,831	1,254,356	94.75	175.959
4	309	101.5	99.7	105.9	4.1	13,860.86	7,844	1,257,964	97.71	176.051
5	308	101.6	99.8	106.9	4.1	13,774.54	5,666	1,250,243	101.08	177.618
6	379	101.6	99.8	106.6	3.9	13,677.32	3,777	1,238,713	97.43	175.427
7	411	102.2	100.0	107.7	3.8	13,668.32	P 5,773	1,254,033	99.71	176.854
8	311	102.4	100.3	107.6	4.1	13,388.86	P 1,615	1,254,204	97.87	180.025
9	446	102.6	100.6	108.4	4.0	14,455.80	P 5,873	1,273,446	99.24	180.555
10	354	P 102.5	100.7	P 109.6	4.0	14,327.94	P -1,279	1,276,751	97.85	181.605
前月比 %	-20.5	-0.1	0.1	1.2% 引	0.0% 引	-0.9	-	0.3	-1.4	0.6
前年同月比%	18.4	2.5	1.1	-	-0.2% 引	60.5	-	0.2	23.9	10.9
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省		日本銀行	日経新聞社

日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入・転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2007(H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	770,111	1,408
2008(H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009(H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2010(H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	462,688	705
2011(H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	471,228	550
2012(H24)	1,361,053	-5,311	-1,264	47,633	26,780	57	52,781	491,157	391
2012(H24) 8	1,350,937	134	-122	47,199	26,190	6	37,514	40,194	18
9	1,350,523	-109	-43	47,615	26,322	3	2,828	32,511	14
10	1,349,968	82	-193	47,295	26,322	3	1,014	47,412	28
11	1,349,295	11	-149	47,153	26,181	3	1,395	39,966	18
12	1,348,616	-159	-515	47,802	26,244	4	492	33,046	15
2013(H25) 1	1,347,650	-121	325	46,961	26,088	2	5,605	47,690	17
2	1,346,535	-274	-134	47,085	26,168	3	286	39,290	48
3	1,345,439	-5,670	-108	47,633	26,780	3	103	33,957	19
4	1,338,972	762	-208	47,496	26,089	5	435	53,238	150
5	1,339,044	-229	34	47,116	26,379	6	529	38,215	73
6	1,338,181	-55	-236	48,018	26,179	5	573	29,714	34
7	1,337,580	6	-64	47,328	26,177	6	620	44,702	76
8	1,337,098	74	-143	47,985	26,238	2	205	30,741	7
9	1,336,664	65	-95	47,776	26,550	3	420	48,855	31
10	1,336,206	-24	-225	P 47,669	P 26,528	7	798	40,103	10
11	1,335,656		-173			3	650		
前月比 %	-0.0	-	-	-0.2	-0.1	-57.1	-18.5	-17.9	-68.4
前年同月比%	-1.0	-	-	0.8	0.8	0.0	-53.4	-15.4	-65.5
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

日銀券の年次計数は年度累計
手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2007(H19)	-	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.70	0.48
2008(H20)	106.6	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009(H21)	90.3	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010(H22)	100.0	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011(H23)	95.8	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2012(H24)	104.7	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.92	0.61
2012(H24) 8	106.0	474	336	120	53	25,262	7,651	0.91	0.60
9	103.8	630	439	164	71	26,697	11,988	0.90	0.61
10	100.7	636	320	266	61	14,771	5,331	0.88	0.61
11	102.9	458	287	136	49	9,899	2,676	0.88	0.61
12	103.0	461	225	205	43	7,490	1,807	0.90	0.62
2013(H25) 1	109.5	263	121	128	25	6,717	1,151	0.99	0.66
2	107.0	145	96	40	16	5,794	342	0.94	0.64
3	109.0	403	216	159	41	22,940	4,915	0.95	0.63
4	107.9	494	358	115	57	35,443	6,773	1.05	0.68
5	109.1	618	436	151	72	14,136	5,266	1.03	0.70
6	110.7	704	434	225	78	15,904	4,339	1.04	0.71
7	100.9	622	397	180	68	28,111	7,573	0.99	0.70
8	108.6	612	440	160	68	21,675	7,285	0.95	0.70
9	P 101.0	668	465	178	76	24,365	12,720	0.98	0.68
10		697	474	209	78	22,887	4,680	1.09	0.70
前月比 %	-7.0	4.3	1.9	17.4	3.6	-6.1	-63.2	0.11 ^ホ イト	0.02 ^ホ イト
前年同月比%	-2.2	9.6	48.1	-21.4	28.9	54.9	-12.2	0.21 ^ホ イト	0.09 ^ホ イト
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
公共工事請負額の年次の欄は年度計数

求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2007(H19)	172,288	29,096	44,637	100.0	286,305	-	18,495	-	-
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,926	-	-
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,425	-	-
2012(H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,071	-	-
2012(H24) 8	16,224	2,544	3,474	98.5	280,611	9,292	1,114	-	} -3.5
9	13,859	2,875	4,022	98.8	286,719	7,896	838	-	
10	14,129	2,455	3,534	98.9	268,574	7,576	833	44.0	
11	14,413	2,519	3,330	98.6	250,439	7,292	827	-	} -2.3
12	18,913	1,660	2,403	98.7	293,191	7,675	813	-	
2013(H25) 1	15,224	2,023	3,273	99.1	270,339	13,852	2,193	48.8	} -9.7
2	13,084	2,434	3,988	99.1	260,705	9,557	1,217	-	
3	15,635	4,132	6,814	99.0	314,484	8,150	975	-	
4	14,242	2,561	3,892	99.1	314,286	8,333	986	57.8	} -15.9
5	14,542	2,153	3,422	99.1	288,421	9,647	1,213	-	
6	14,778	2,595	4,188	99.1	266,040	8,788	961	-	
7	14,852	3,205	4,662	99.3	264,852	9,255	1,036	51.5	} 0.7
8	16,068	2,103	3,259	99.4	253,893	8,939	1,010	-	
9	13,790	2,784	4,503	100.4	238,310	7,801	812	-	
10	P 14,186	2,718	3,957	100.4	239,619	7,239	829	51.5	-
前月(期)比%	-	-2.4	-12.1	0.0	0.5	-7.2	2.1	0.0ポイント	16.6ポイント
前年同月(期)比%	-1.5	10.7	12.0	1.5	-10.8	-4.4	-0.5	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2007(H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012(H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2012(H24) 8	1,825	526	-	24,688	3,498	520	1,892	11,109	10,200
9	16,052	299	171	22,576	2,155	455	1,678	7,985	8,474
10	24,727	246	162	12,995	2,086	691	1,018	9,545	10,823
11	20,706	248	179	18,970	3,719	407	3,880	8,825	8,962
12	23,238	280	144	7,234	16,110	693	2,950	4,764	13,631
2013(H25) 1	30,572	258	140	2,355	580	528	5,264	13,994	12,039
2	33,124	246	134	3,328	657	533	2,804	11,083	14,127
3	34,915	237	127	2,658	613	525	4,541	6,801	10,979
4	33,756	239	155	1,033	371	620	4,214	14,112	12,785
5	23,523	277	-	2,331	445	950	2,072	10,173	11,157
6	17,874	300	-	2,746	385	707	2,057	5,533	11,616
7	11,639	306	-	4,083	877	571	0	16,446	13,080
8	4,336	346	-	11,521	2,704	773	3,245	8,113	10,778
9	18,836	247	138	26,242	4,232	554	2,077	7,943	12,298
9	25,439	249	175	22,248	3,477	457	1,909	9,168	12,351
前月比 %	35.1	0.8	26.8	-15.2	117.5	-17.5	-8.1	15.4	0.4
前年同月比%	2.9	1.2	8.0	71.2	66.6	-33.8	87.5	-4.0	14.1
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (°C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2012(H24)	10.5	1,295.5	1,669.1	18,765
2012(H24) 9	23.5	76.0	201.3	1,517
10	14.4	115.0	160.3	1,471
11	7.0	205.0	47.1	1,130
12	-0.5	100.5	41.3	1,287
2013(H25) 1	-2.4	127.0	49.3	1,546
2	-1.7	147.5	55.4	1,227
3	2.0	73.0	99.6	1,079
4	7.5	119.0	170.2	1,060
5	12.5	36.5	155.6	977
6	18.1	9.0	232.2	1,161
7	21.8	144.0	136.5	1,407
8	24.7	308.0	185.2	1,749
9	20.4	238.5	172.1	1,240
10	14.6	204.5	101.1	1,164
前月比 %	-5.8	-34.0ml	-71.0h	-6.1
前年同月比 %	0.2	89.5ml	-59.2h	-20.9
資料出所	気象庁			外務省

県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2011 (H23)			
1~3月	-20.7	-31.6	-33.3
4~6月	-10.3	-33.3	-30.4
7~9月	-12.0	-43.6	-15.3
10~12月	2.5	-25.0	-6.3
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	15.9	-5.7	15.3
7~9月	0.0	-21.1	5.3
10~12月	0.0	-17.1	5.6
2013 (H25)			
1~3月	-23.3	-5.3	-1.9
4~6月	-24.0	-23.1	-3.6
7~9月	-6.3	5.7	3.7
10~12月	-8.3	-20.0	1.9
資料出所	青森銀行BSI('13.10~12月期は見直し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2012(H24) 9	295,957	181,241	235,609	661	354	673	137	115	176
10	295,683	181,275	235,562	622	273	532	116	112	159
11	295,562	181,210	235,621	622	315	500	97	69	134
12	295,361	181,150	235,585	410	233	339	83	79	137
2013(H25) 1	295,145	181,057	235,506	512	219	430	68	10	86
2	294,901	180,908	235,427	587	292	509	10	13	73
3	294,667	180,767	235,346	1,105	487	717	108	33	72
4	292,815	179,449	234,256	589	243	600	119	62	124
5	293,749	180,088	234,376	495	261	438	182	73	110
6	293,602	180,072	234,299	645	310	513	200	90	173
7	293,503	179,953	234,266	842	367	706	141	106	124
8	293,531	179,933	234,253	486	246	460	151	79	112
9	293,422	179,803	234,203	640	308	574	147	106	121
10	293,219	179,831	234,124	710	282	553	260	75	110
11	293,100	179,796	234,117						
前月比 %	-0.0	-0.0	-0.0	10.9	-8.4	-3.7	76.9	-29.2	-9.1
前年同月比 %	-0.8	-0.8	-0.6	14.1	3.3	3.9	124.1	-33.0	-30.8
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企 業 倒 産					
	青森市	弘前市	八戸市	青森市		弘前市		八戸市	
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	
2012(H24) 9	0.51	0.73	0.78	0	0	1	28	2	2,800
10	0.53	0.72	0.82	1	66	1	648	0	0
11	0.51	0.58	0.75	2	1,242	0	0	0	0
12	0.39	0.43	0.61	0	0	2	142	0	0
2013(H25) 1	0.38	0.34	0.57	0	0	0	0	2	5,605
2	0.51	0.40	0.65	1	10	1	76	0	0
3	0.55	0.47	0.72	1	58	1	20	0	0
4	0.51	0.44	0.69	2	98	0	0	0	0
5	0.51	0.43	0.68	3	222	1	92	0	0
6	0.54	0.48	0.70	1	90	0	0	2	440
7	0.59	0.48	0.75	2	200	1	200	1	30
8	0.61	0.52	0.83	0	0	0	0	1	120
9	0.62	0.67	0.93	1	10	0	0	0	0
10	0.70	0.72	0.91	2	215	0	0	3	213
11				0	0	0	0	2	620
前月比 %	ホイント	ホイント	ホイント	-100.0	-100.0	-	-	-33.3	191.1
前年同月比 %	ホイント	ホイント	ホイント	-100.0	-100.0	-	-	-	-
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

有効求人倍率は原数値による